

# ぜんまい

令和6年 4月  
第72号



### 石川県の内水面漁業復興に希望を！～被災前の石川県内漁連傘下漁協の活動～

上段：左より鯉ヶ浦(稚魚放流)・白山手取川(稚魚放流)・大杉谷川(産卵場造成)・新丸(稚魚放流)・邑知瀧(フナ漁)・金沢(アユ釣り体験)各漁協  
下段：被害が大きかった輪島市の町野川漁協(稚魚放流)・ヤツメウナギ勉強会・川遊び体験



漁業者(会員漁連)の傘下漁協組合員  
年間契約「四回発行」定価三〇〇〇円(本体二七七八円)送料サービス  
年間契約「四回発行」定価三二〇〇円(本体二九一〇円)送料サービス  
単品 定価七五〇円(本体六八二円)送料別  
単品 定価八〇〇円(本体七二八円)送料別

## 刊行物案内

本会では、漁場環境の改善に係る水産庁の委託事業を受託しています。事業終了後にその結果を、報告書として取りまとめ、漁業関係者ほか多方面に実費負担で提供しています。ご希望の方はこちらの申込方法をご覧ください。在庫がなくなり次第、終了とさせていただきます。  
※価格には送料・消費税10%が含まれています。

| タイトル   | 監修・編集                                   | 発行    | 価格    | 在庫 |
|--|---|-------|-------|----|
| アユ種苗の放流の現状と課題<br>—琵琶湖産、人工産、海産の特性を考慮した増殖事業—                 | 監修<br>農学博士 石田 力三                        | H14.3 | 2,100 |    |
| 魚を取水施設に迷入させないための試み<br>—内水面資源利用向上対策事業報告書—                   | 監修<br>愛媛大学名誉教授 水野 信彦                    | H13.3 | 1,570 |    |
| 天然アユを川にたくさん遡上させるための手引き<br>—海産アユ種苗回帰率向上総合調査報告書—             | 監修<br>東京大学名誉教授 羽生 功                     | H12.6 | 2,620 |    |
| 「身近な川と魚の調べ方」を用いた調査と<br>さかんに配慮した河川工事事例<br>—都市近郊河川漁場改善調査報告書— | 監修<br>広島大学名誉教授 中村 中六<br>東京大学名誉教授 平野 礼次郎 | H8.3  | 2,410 |    |
| 魚の迷入の実態とその対策へのアプローチ<br>—放流稚魚等迷入防止対策事業報告書—                  | 監修<br>水産環境研究所代表 石田 力三                   | H8.3  | 2,940 | 少  |
| 農業水利施設の魚道整備の手引き  | 編者<br>農業水利施設魚道整備検討委員会                   | H6.3  | 2,100 | 少  |
| 汽水域資源の有効利用をめざして<br>—汽水域総合開発利用調査報告書—                        | 監修<br>東京大学名誉教授 日比谷 京                    | H6.3  | 1,890 |    |
| ブラックバスとブルーギルのすべて<br>—外来魚対策検討委託事業報告書—                       | 監修<br>東京大学名誉教授 羽生 功                     | H4.3  | 3,150 | 少  |
| 魚を育む豊かな流れ<br>—河川生物資源保全流量調査報告書—                             | 監修<br>東京大学名誉教授 日比谷 京                    | H1.3  | 2,410 | 少  |

### 【申込方法】

お申し込みは、申込書をHP上でダウンロードして印刷し、必要事項をご記入の上、FAX、郵送または電子メールにてお送りください。お支払いは、現金書留、または銀行振込にて先払いでお願いいたします。入金が確認出来次第、お届けいたします。

### ●郵便の場合

現金と申込書を同封の上、現金書留にて本会事務局までお申し込みください。

### ●銀行振込の場合

申込書をファックスまたはお電話、電子メールにてお届けください。折り返し振込先をお伝えします。

### 【申し込み先】

## 全国内水面漁業協同組合連合会

〒101-0044  
東京都千代田区鍛冶町1丁目10-4  
丸石ビル4階  
TEL: 03-6260-9595  
FAX: 03-5296-2030  
E-mail: zennaigyoren@naisuimen.or.jp

## CONTENTS

|                          |    |                     |    |
|--------------------------|----|---------------------|----|
| 巻頭言                      | 2  | 我が漁協(東京都 奥多摩漁業協同組合) | 20 |
| 全内漁連開催の各会議について           |    | 映画『ミルクの中のイワナ』       | 22 |
| 総務委員会を開催                 | 4  | 内水面漁協(第42回)         | 24 |
| ブロック会議を開催                | 4  | 愛しきアユ(第45回)         | 25 |
| 第1回種苗対策委員会を開催            | 4  | ウナギ生息環境改善支援事業       | 26 |
| 第17回内水面漁業の施策に関する意見交換会を開催 | 6  | 水産多面的機能発揮対策支援事業     | 27 |
| 令和5年度補助事業の実施結果報告         | 10 | 日光支所から              | 28 |
| 令和5年度委託事業の実施結果報告         | 12 | 業務日誌                | 30 |
| みんなでやるぞ内水面漁業活性化事業概要      | 14 | 職員のつばやき             | 31 |
| 子どもの頃の思い出～内水面漁場の潜在力      | 16 | 新聞記事から              | 31 |
| ワカサギふ化施設導入に関する支援制度のご案内   | 17 | 編集後記                | 31 |
| 密漁と密放流 その2               | 18 |                     |    |

スマホで、  
釣り行こう

# 釣り人にスマートな 釣り時間を提供する

遊漁券購入・証明・提示をスマホで完結。  
全国300河川で利用可能。  
保険付き遊漁券はフィッシュパスだけ。

オンライン化に関するご相談やご要望など、なんでもお寄せください。  
弊社が丁寧にサポートいたします。



## FISH PASS

〒910-0347 福井県坂井市丸岡町熊堂 3-7-1-16 福井県産業情報センター

ご相談はこちら： ☎ 0776-67-7335 ✉ contact@fishpass.co.jp



🔍 フィッシュパス

## 日光支所から

### 湯ノ湖・湯川調査研究推進協議会

日光支所では、国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所(以下、水研機構)が行う冷水域の資源管理に関する調査協力を行っています。年に1回協議会を開催して水産庁の研究水面で各機関が行った湯ノ湖・湯川での調査結果や、全内が行っている釣り場管理の状況を国・県・市の関係機関と地元自治会や関係者に報告し、今後の利用方法を話し合います。

本年度は、令和6年2月29日に栃木県日光市の水研機構日光庁舎おさかな情報館セミナー室で開催され、全内からは中奥龍也専務理事と日光支所の遠藤祐二支所長が参加しました。

令和5年度湯ノ湖・湯川調査報告を水研機構から、湯ノ湖・湯川研究協力業務実施報告書を全内からそれぞれ説明しました。

質疑の中では、(二財)自然公園財団日光支部の所長から、湿原保護のために湯川沿いに本会が設置した立ち入り制限柵の補修、国立公園内で釣りが行われていることのハイカーへの説明掲示について全内に要望がありました。立ち入り制限柵については、日光支所で材料は概ね準備しており、実施時期等について日光支所長と環境省の日光国立公園管理事務所で調整することとし、釣りについての説明掲示については方法等を今後検討することとしました。

引き続き令和6年度調査研究計画について水研機構と全内から説明を行い、提案どおり了承が得られました。

日光国立公園管理事務所の企画官から、湯川で生育範囲を拡大している外来水生植物オオカワヂシヤについて報告があり、来年度に駆除を行うことについて協力要請がありました。

また、(二財)自然公園財団日光支部の所長から、冬季に結氷した湯ノ湖の氷上に侵入する観光客が後を絶たないため、立ち入り禁止のロープを張り声掛けはしているが、外国人にも分かるような注意喚起の掲示をしてほしいとの要請があり、水産庁研究指導課が持ち帰って検討することとなりました。

### 解禁に向けて

湯ノ湖と湯川の釣り場管理業務の解禁を令和6年5月1日(水)に控え、準備を進めています。釣魚期間は、5月1日から9月30日の5ヶ月間です。

昨年度に引き続き、全内では釣魚者全員を対象にアンケート調査の配布と回収を行う研究協力業務、釣りのゴミ回収やコカナダモの除去・水質調査など地元自治会や流域美化の推進にあたる環境機関と連携した環境保全業務、湯ノ湖・湯川での釣り場管理事業を行います。また、釣り大会や初心者向けの釣り教室、小学生の修学旅行等を対象とした体験学習会を開催して、釣りの面白さや内水面漁業の役割、奥日光の素晴らしさを啓発していきます。

養魚場では、採卵した卵をふ化させ、解禁に向けて大切に飼育している所です。